

# 企画部会（平成22年度第5回）

## 議事録（案）

2011年1月14日（金）開催

時間	9:30～11:30		場所	地盤工学会会議室	
谷 部 長		峯 田 理事			
浅 田 部 員		工 藤 委 員		佐 々 部 員	×
杉 本 部 員	×	濱 田 部 員		堀 越 部 員	
事務局：戸塚	×	事務局：浅野			

：出席    ×：欠席    ：未定

### 【議 題】

議事録担当者の選出          堀越部員

1. 前回議事録の確認（工藤部員） 【別紙 1】pp.1-2
  - ・承認された。
  
2. 男女共同参画・ダイバー委員会前回議事録 【別紙 2】pp.3-5
  - ・シニア座談会を開催する予定。メンバーは、ほぼ決定している。シニアが積極的に関与できる学会、或いは、シニアを活用していく学会として、座談会での議論を進める方針。
  - ・夏の学校に「全国土木系女子学生の会」も参加する。別ブースとなるか、参加形態を検討中。今後、学生の興味を引かせるような“出し物”のアイデアを相談する可能性あり。
  - ・地盤工学研究発表会 神戸大会にて、“女性会員カフェ”を計画。
  - ・サポータは、会員、非会員を問わず募集するが、入り口が重要である。学生会員を増やすための就職ナビなども有効。
  - ・影響力のある教員や企業の管理職レベルの教育が重要である。会社でダイバーシティを担当している方にサポータになってもらうことも考えられる。
  
2. 資格・認定制度の検討 【別紙 3】pp.6-13
  - ・学会独自に技術者資格を創設するのは難しいが、他の組織が主体となる既存の資格・認定に協力することはあり得る。この基本方針に対して、理事会での反対意見はなかった。
  - ・次の理事会で答申書（案）をオーソライズしてもらおう。各自、内容を読み、コメントがあれば濱田部員に送付する。
  - ・土木学会では、技術推進機構が、この種の業務を実施している。
  - ・今後の活動方針を検討する上で、「認証」「認定」「評定」「技術評価」など、用語の定義を明確にする必要がある。また、対象として、「個人」「組織」「技術」に分けて検討を進める必要がある。
  - ・次年度は、どのような形での協力があり得るのか、より、具体的な実施計画（案）を作成する。
  
3. 2009 中長期ビジョンのアクションプランの検討 【別紙 4】pp.14-16
  - ・「中期目標」に記載されている内容のトーンが揃っていない。目標ではなく、実施内容まで記載されている部分もあるので、の表題を、「中期目標およびアクションプラン」とする。
  - ・が付された主担当となる部と、が付された関連する部からの記載事項が、必ずしも整合がとれていない。すべてが出揃った現バージョンを、再度、主担当部に送付し、関連部との調整のうえ、内容の再吟味をお願いする。
  - ・「長期目標」が該当しない課題については、当該欄に斜線をひき、それが分かるようにする。
  - ・5年後を見据えた中期目標が記載されているが、5年後に見直すのではなく、毎年、記載された目標に向かっていくのか、内容のフォローアップを行う。

4.地盤工学会の発展史とアカデミック・ロードマップの検討

【別紙 5】pp.17-26

- ・平成 23 年度に準備委員会をたちあげる。「発展史&人物史」は，出版事業と捉えて事業務に設置する。「アカデミック・ロードマップ」は，企画部に設置する。それぞれの準備委員会は，本委員会が立ち上がった後の親委員会となることが好ましい。
- ・予算的に厳しいので，何らかの形で費用的な助成を得ることが可能なのか，情報収集する。
- ・「アカデミック・ロードマップ」は，1000 人規模の学会会員が関与することを目指しているが，各分野で少数メンバーからなる会合を中心に作成を進め，残りの多くのメンバーに意見聴取する形態が現実的である。

5.次回開催日の確認

- ・平成 23 年 3 月 11 日（金）9：30～11：30

6.次回理事会への提案事項

- ・審議事項：「2009 中長期ビジョンのアクションプランの検討」最終版シート
- ・報告事項：なし

以上